

地域おこし協力隊活動記

東京タワー～ジブンとカブと時々コンビニ～

地域おこし協力隊の菅原です。

さて今回のテーマは「地元のもの」。長い間同じ地域に住んでいても、案外その土地の有名な場所には行っていなかった…。そんな経験ありませんか？

私は生まれも育ちも東京ですが、実は今まで東京タワーに行ったことがなかったのです。このたび、近くで予定があったのでフラッと立ち寄ってみました。

目の前にそびえるオレンジと白の電波塔。遠くから見ると迫力があります。「結構高いな」と感じたのですが、ふと思ったのが、小野町の標高よりも低いということ。(東京タワー333mに対し、小野町は市街地で400m程度)

国道4号線や6号線は、いったいいつの間に坂になっていたのだろう…と東京からの帰り道に考えてしまいました。

カブごしの
東京タワー！



東京タワー内で
マリオネットの
パフォーマンス！



ふるさと小野町会

ふれあい通信



白石 正

- 谷津作出身
- 埼玉支部

『ふるさとから元気をもらおう』

ふるさと小野町への夢と今時のことを書いてみます。

帰省し、必ずすることは「ふるさと小野町会」10周年記念として植樹した桜の木を見ることが、実家近く元湯旅館があった場所のあふれる温水はどうなっているかです。宝が捨てられていると、悲しい気持ちになります。「農業への利用はできないかな？」と感じています。また小野町の「黒にんにく」は絶品です。青森産と差別化し、オンリーワンとなってくれば。

また広報おのまちを読んでいます、町長2

期目の抱負に「町民が主役のまちづくり」とあり、大いに期待し元気をもらっています。「NHK地域づくりアーカイブス」は、まちおこしに役に立つ情報が豊富と感じていますし、最近よく耳にする「クラウドファンディング(多くの人からの資金を募る方法)」も活用できそうです。さらに「若者・ばか者・よそ者」によるまちづくりは本当だと思います。

私は、父が「ぼっぼや(鉄道員)」で国鉄の小野新町駅の東にあった駅の官舎に住んでいました。D51(デゴイチ)とC58(シゴハチ)の蒸気機関車を毎日見たことが楽しい思い出です。私は、埼玉県熊谷市で「気功」をしています。会場そばの荒川公園にD51があります。大きな四つの動輪を見ると当時を思い出して落ち着きます。また日常で気を使っていることは「教育(今日行くところがある)」と「教養(今日用がある)」を意識して外に出ることです。ふるさと小野町の思い出から元気をもらいNPO法人自然観察指導員として、埼玉北部の自然環境の保護に情熱を傾けています。